

使徒言行録3章17節～26節。「ところで、兄弟たち、あなたがたがあんなことをしてしまったのは、指導者たちと同様に無知のためであったと、わたしには分かっています。しかし、神はすべての預言者の口を通して予告しておられたメシアの苦しみを、このようにして実現なされたのです。だから、自分の罪が消し去られるように、悔い改めて立ち帰りなさい。こうして、主のもとから慰めの時が訪れ、主はあなたがたのために前もって決めておられた、メシアであるイエスを遣わしてくださるのです。このイエスは、神が聖なる預言者たちの口を通して昔から語られた、万物が新しくなるその時まで、必ず天にとどまることになっています。モーセは言いました。『あなたがたの神である主は、あなたがたの同胞の中から、わたしのような預言者をあなたがたのために立てられる。彼が語りかけることには、何でも聞き従え。この預言者に耳を傾けない者は皆、民の中から滅ぼし絶やされる。』預言者は皆、サムエルをはじめその後には預言した者も、今の時について告げています。あなたがたは預言者の子孫であり、神があなたがたの先祖と結ばれた契約の子です。『地上のすべての民族は、あなたから生まれる者によって祝福を受ける』と、神はアブラハムに言われました。それで、神は御自分の僕を立て、まず、あなたがたのもとに遣わして下さったのです。それは、あなたがた一人一人を悪から離れさせ、その祝福にあずからせるためでした。」

ペトロは、生まれながら足の不自由な男が立ち上がって歩いたのは、自分たちの力や信心ではなく、復活した主イエスの名によるものであることを力説した。続いて、主イエスの苦しみが旧約聖書に預言されていたことの成就であり、主イエスを信じる信仰に立ち返るなら神の祝福に与り、救いを受けると語っている。「ところで、兄弟たち」と親しく呼びかけている。あなた方は主イエスを十字架で殺してしまったが、それは、最高法院の指導者たちと同じ無知のためであった。無知がもたらした行為であったが、神が預言者たちの口を通して予告させたメシアの苦しみの実現となった。だから、自分の罪が消し去られるように、悔い改めて立ち帰りなさい。赦しに与るために、主イエスを十字架で殺した罪を悔い、この方がメシアであるという信仰に立ちなさい。神は救いの時が訪れるように、メシアである主イエスを遣わすことを、前もって決めておられた。この主イエスは、聖なる預言者たちの口を通して昔から、万物が新しくなる日まで、必ず天に留まると預言されている。使徒言行録の著者は、世の初めから終りまでの神の救済史を壮大に描いている。神は人間の救いのために、主イエスを遣わすことを予め計画し、十字架の苦難を負わせ、復活させ、昇天させた。昇天した主イエスは世の終りの終末まで天に留まるという。

ペトロの説教はなお続く。モーセは神が立てた預言者の言葉に聞き従いなさい、耳を傾けない者は滅ぼし絶やされると言った。全ての預言者たちは今の時、主イエスについて告げている。あなた方は預言者の子孫であり、先祖と結ばれた契約の子である。神はアブラハムに「地上のすべての民族は、あなたから生まれる者によって祝福を受ける」と契約された。契約通り、遣わされた主イエスによって、祝福を受ける者となった。あなた方は今、一人ひとり悪と罪から離れ、主イエスの救いに与る祝福を受けなさい。

ペトロの説教は初代教会の宣教(ケリユグマ)で、旧約聖書の預言が主イエスにおいて、実現、成就していると、ユダヤ人に向かって語られたものである。